

調査用 生きものガイド

中級編：里山



はじめに

福岡県には、山、川、草原、田畑、海、干潟、市街地など、生きものが暮らすさまざまな環境があります。

ふくおか生きもの見つけ隊の中級編では、山や川、田畑、人家などが集まっている里山で、どんぐり、クワガタムシ、セミ、コガネグモの仲間たちを探してじっくり観察することがミッションです！みんなは、これらの生きものの仲間にはいろいろな種類がいることを知っていますか？名前は知っていても、実際に見比べてたり、暮らし方のちがいを調べてみたことはありますか？

さあ、この「生きものガイド」を手に里山へ出かけていって、どんぐりやクワガタムシ、セミ、コガネグモの仲間たちの種類をしらべてみよう！そして、見つけた生きものの情報を報告して、隊員同士で情報交換をしましょう！！



目次

● はじめに・目次	1
● 『ふくおか生きもの見つけ隊』の参加方法	2
● 里山に暮らす生きものたち	3
● 生きもの図鑑—里山の生きものを見比べてみよう—	
どんぐりの仲間	5
クワガタムシの仲間	10
セミの仲間	14
コガネグモの仲間	19

『ふくおか生きもの見つけ隊』の参加方法

● ステップ1：『いきものログ』へユーザー登録しよう

『いきものログ』のホームページ <http://ikilog.biodic.go.jp/>でユーザー登録をしましょう。登録方法は郵送した「いきものログの使い方」を見てください。

* 15才以下の登録には保護者の同意が必要です。



● ステップ2：結果を報告する 生きもののことを予習しよう

5～22ページの生きもの図鑑を読んで、探したい生きものが里山のどんな場所にいるのか想像してみましょう。いつ、どこに行けば見つかりそうですか？



● ステップ3：生きものを観察して見比べよう

さあ、里山に出かけていろいろな生きものを探してみましょう！どんぐり・クワガタムシ・セミ・コガネグモの仲間を見つけたら、体をじっくり観察して、種類を調べてみよう。観察のコツや注意事項などは初級編ガイドの3、4、20、22ページを見てください。



● ステップ4：観察結果を報告しよう

ガイドに載っている生きもののうち、報告対象の生きものを見つけたら、『いきものログ』に結果を報告しましょう。報告方法は、生きものログのマニュアルや初級編ガイドの21ページを見てください。



● ステップ5：県内の隊員の観察結果を見よう

県内のどこにどんな生きものがいるのか、他の隊員の観察結果を見てみましょう！結果を見る方法については、初級編ガイドの21ページを見てください。



里山に暮らす生きものたち

クワガタムシの仲間

夏休みの虫取りの代表といえば、カブトムシやクワガタムシ！クワガタを見つけるのは簡単ではないけれど、探すコツをつかんでいる色々なクワガタを見つけて、見比べてみよう！



【報告する種類】

- ・コクワガタ
- ・ヒラタクワガタ
- ・ノコギリクワガタ

コガネグモの仲間

大型で黄色と黒の目立つ色をしたコガネグモの仲間たち。ちょっと見た目は恐そうだけど、田畑の害虫を食べてくれるなど、人の生活と深い関わりがある生きものです。



【報告する種類】

- ・コガネグモ
- ・ナガコガネグモ
- ・コガタコガネグモ
- ・ジョロウグモ



セミの仲間

夏といえばセミ！というくらい私たちになじみ深い生きもの。でも、セミがどんな一生を送っていて、何を食べて育つのか、県内に何種類のセミがいるのか、知っていますか？



【報告する種類】

- ・アブラゼミ
- ・ミンミンゼミ
- ・ニイニイゼミ
- ・ツクツクボウシ
- ・クマゼミ（初級編）

どんぐりの仲間

どんぐりの仲間たちは、里山の森を形作る主役たちです。どんぐりは野生動物の重要なエサになるだけでなく、昔は人々の大切な食料にもなっていました。



【報告する種類】

- ・クリ
- ・シリブカガシ
- ・スダジイ
- ・マテバシイ
- ・クヌギ
- ・コナラ
- ・イチイガシ
- ・ウバメガシ

雑木林や水田、ため池、川、集
そんな里山には、とてもたくさん
里山に暮らす似たもの同士の生き
を見比べたり、住んでいる環境の

落などが集まっている里山。
の生きものが暮らしています。
ものを探して、体の形の違い
違いなどを発見してみよう！



どんぐりの仲間

ブナ目ブナ科 Fagaceae

● どんぐりあれこれ雑学

① どんぐりって何？

どんぐりとは、クヌギ、コナラ、アラカシなど、ぼうし（おわんともいいます）状の殻斗でつまれたブナ科の植物の果のことです。

② どんぐりの語源

どんぐりをコマにして遊んだことから、コマの昔の名前である「ツムグリ」が「ズムグリ」「ズングリ」・・・と変わっていき、「ドングリ」になったという説や、古い韓国語で丸いを意味する「ドングル・イ」という説があります。

③ どんぐりになる時期

クイヤイチイガシは花が咲いたその年に実が熟しますが、クヌギのように花が咲いた年には実は小さいままで、次の年に熟して大きくなる種類もあります。

④ 食べられるどんぐり

昔の人々は、どんぐりなどの木の果を食料としていました。しづみの少ないマテバシイやイチイガシなどは、そのまま炒ったり、粉にしてからだんごにして食べられます。しづみの強いクヌギやアラカシなどは、何回もアク抜きをしてから食べていました。



遺跡から発掘されたどんぐり

県内の遺跡からは、8ページで紹介するイチイガシが最も多く見つかります。

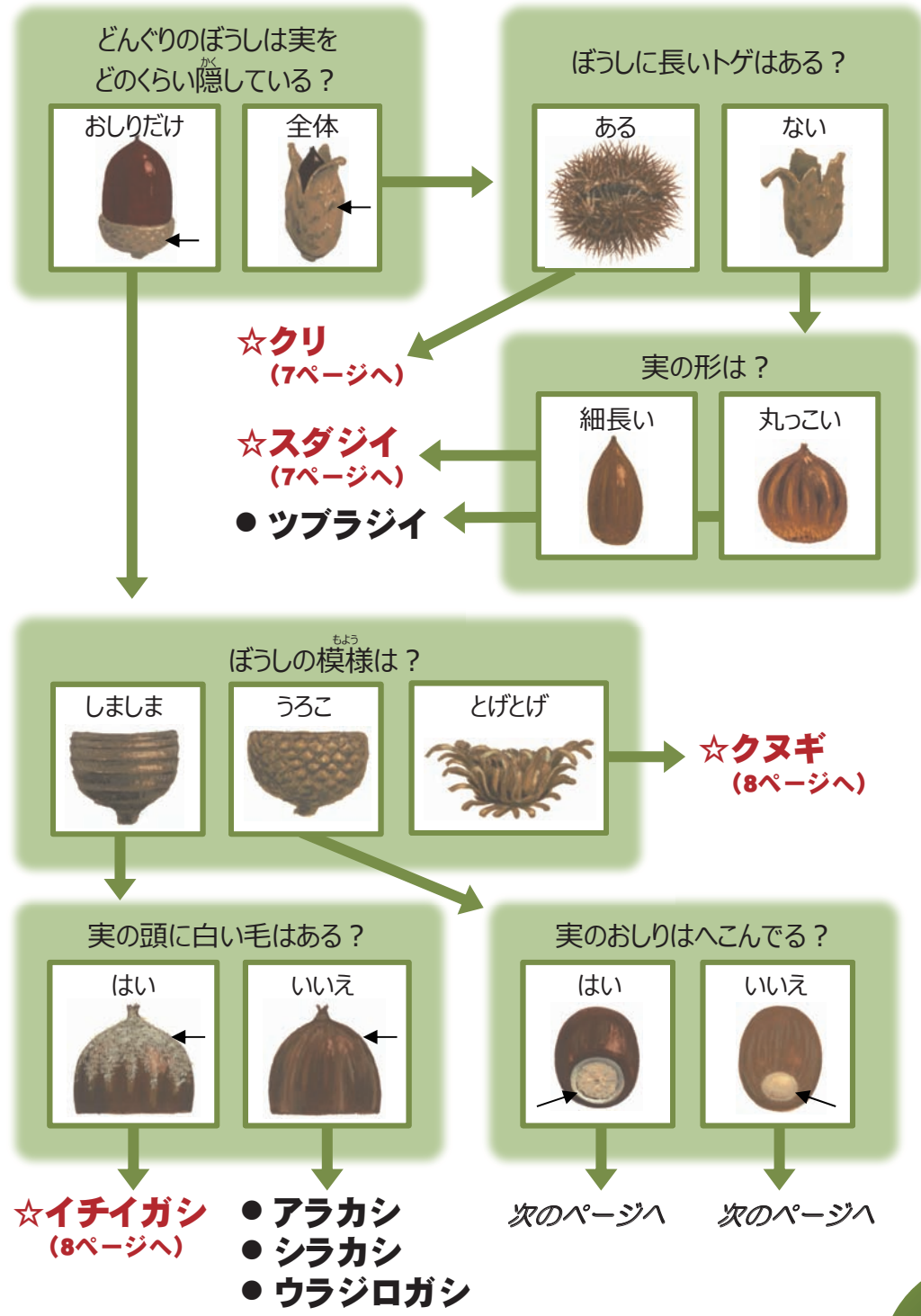


どんぐりクッキー

9ページで紹介するマテバシイのどんぐりで作ったクッキー。まあまあおいしいよ！



● 種類しらべスタート！（☆は報告対象です）



へこんだおしりの続き

へこまないおしりの続き

実の上と下はどちらが太い？

上の方が太い

下の方が太い



☆シリブカガシ (8ページへ) ☆マテバシイ (9ページへ)

実の形はどっち？

細長いだ円形

ラグビーボール形



☆コナラ (9ページへ) ☆ウバメガシ (9ページへ)

クリ

栗 *Castanea crenata* ブナ科クリ属

どんぐり：ぼうしはいが（トゲ）でおおわれ、実を包む。いがの中にふつう3つの実が入り、食用にする。6月ごろに花が咲き、その年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ7～14cm、幅3～4cmで細長い。葉のふちには針のようにとがったギザギザがある。ギザギザの先まで緑色。落葉樹で葉がうすい。



スタジイ

すだ椎 *Castanopsis sieboldii* ブナ科シイ属

どんぐり：ぼうしは実をすっぽり包み、熟すと先がさける。実は細長い卵形で、直径1.2～2cm。5～6月に花が咲き、翌年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ5～15cm、幅2.5～4cm。葉のふちにはほとんどギザギザがない。表は深緑色で、うらはつやつやした金茶色。常緑樹で葉が厚い。

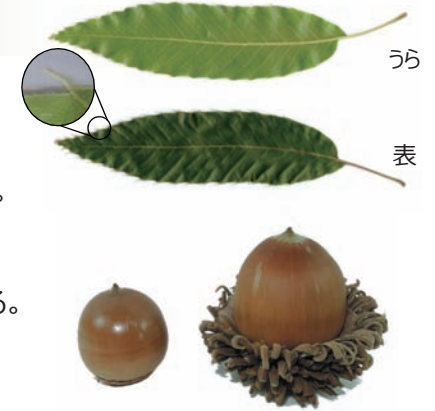


クヌギ

櫟 *Quercus acutissima* ブナ科コナラ属

どんぐり：ぼうしは分厚いとげ状。実は球形～たる形で、直径2～2.5cm。4～5月に花が咲き、翌年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ8～15cm、幅3～5cmで細長い。葉のふちにはクリよりもとがったギザギザがある。ギザギザの先は緑色が消えて白っぽい。落葉樹で葉がうすい。



イチイガシ

一位櫟 *Quercus gilva* ブナ科コナラ属

どんぐり：ぼうしはしま状で、輪を重ねたように見える。実はたる形で、直径1～1.5cm。4～5月に花が咲き、その年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ6～14cm、幅2～4cmで細長い。葉の先半分のふちにはとがったギザギザがある。うらは毛が密生していて黄色っぽい。常緑樹で葉が厚い。



シリブカガシ

尻深櫟 *Lithocarpus glaber* ブナ科マテバシイ属

どんぐり：ぼうしはうろこ状。実は長いたる形で黒茶色、長さ1.5～2cm。9～10月に花が咲き、翌年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ6～14cm、幅3～5cm。葉のふちにギザギザがない。葉のふちにギザギザがない。常緑樹で葉が厚く、うらは白っぽい銀色。1年目の枝には黄土色の毛がたくさんつく。



マテバシイ

馬刀葉椎 *Lithocarpus edulis* ブナ科マテバシイ属

どんぐり：ぼうしはうろこ状。

実は大きくて赤茶色、長さ 1.5～3cm。
5～6月に花が咲き、翌年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ 5～20cm、幅 3～8cm と大きい。

葉のふちにギザギザがない。
常緑樹で葉がとても厚く、うらはうすい緑色。
1年目の枝は緑色でタテに筋が入る。



うら

表

コナラ

小櫨 *Quercus serrata* ブナ科コナラ属

どんぐり：ぼうしはうろこ状、うろこは密にくっつく。

実は細長い円状、直径 1.5～2cmだが、
木によって形や大きさに違いがある。
4～5月に花が咲き、その年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ 6～14cm、幅 2～4cm。

葉のふちには大型のとがったギザギザがある。
落葉樹で葉がうすい。



うら

表

ウバメガシ

姥目櫨 *Quercus phillyraeoides* ブナ科コナラ属

どんぐり：ぼうしはうろこ状で、小さくてうすい。

実はラグビーボール状で、長さ 2cm ぐらい。
4～5月に花が咲き、翌年の秋に実が熟す。

葉の形：長さ 3～6cm、幅 2～3cm と小さい。

葉のふちには浅いギザギザがまばらにある。
常緑樹で葉がとても厚くて、かたい。



うら

表

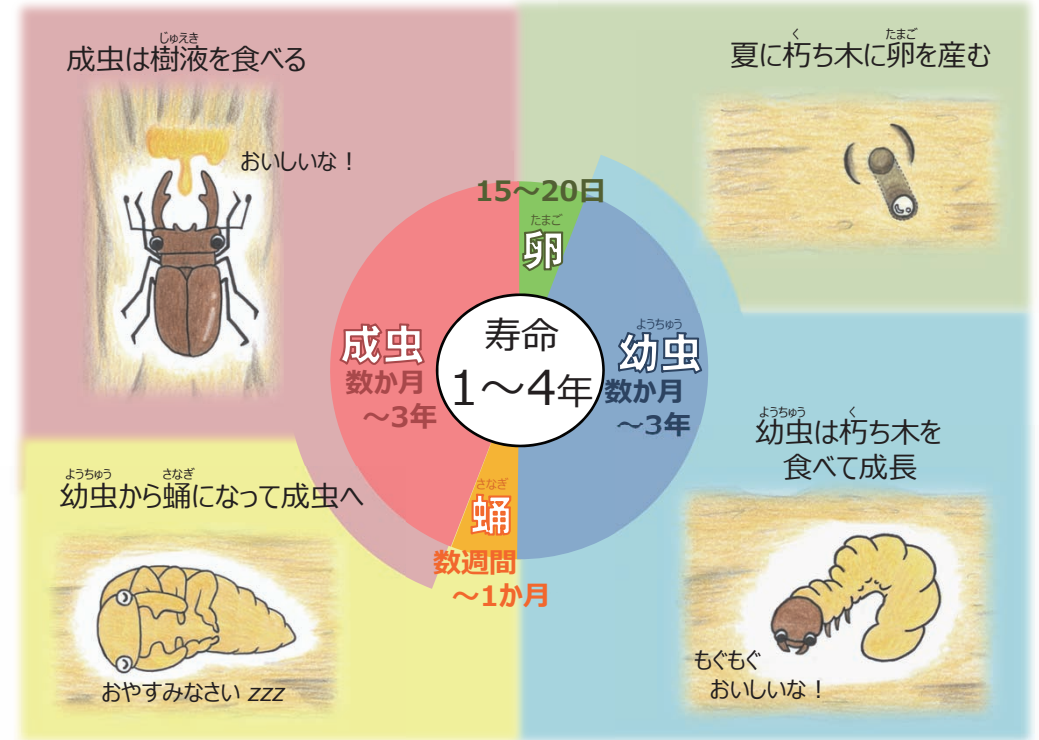
* 県内にはもともと分布せず、植えられたものが見られます。



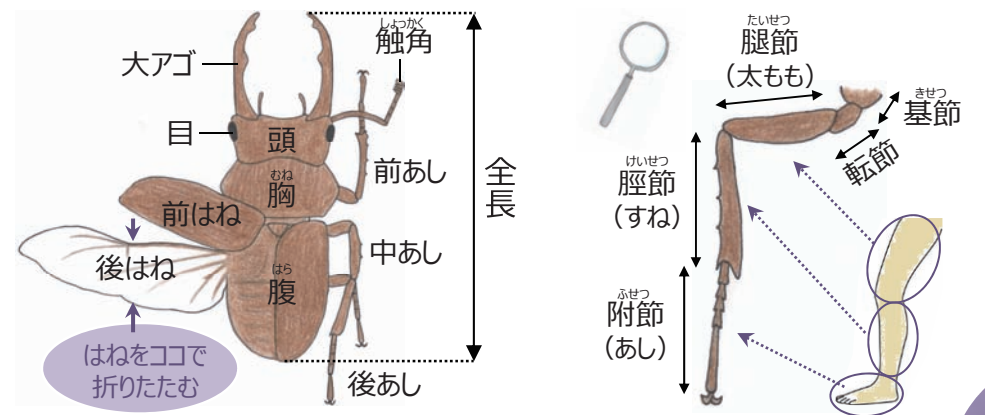
クワガタムシの仲間

コウチュウ目 クワガタムシ科 Lucanidae

クワガタムシの一生



体のつくりを観察してみよう!



● クワガタムシの仲間を探すコツ

① 明かりに
集まる虫を探す



夜に街灯・自販機・コンビニなどの明かりに集まる虫をチェックしてみよう！

② 樹液に
集まる虫を探す



朝方に、クヌギ・コナラ・ヤナギの木をチェックしてみよう！

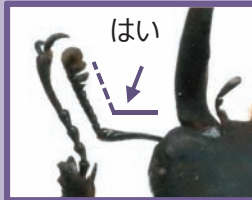
③ エサを木にくくり
つけておびき寄せる



腐らせたバナナをネットに入れて、木にくくりつけてチェックしてみよう！

● 種類しらべスタート！ (☆は報告対象です)

触角の第1節は、
他の節より明らかに長い？



● ゴミムシ類
● カミキリムシ類 など



あしのつけ根は赤茶色？



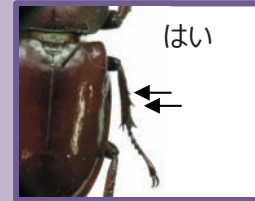
● アカアシクワガタ



次のページへ

前のページの続き

中あしと後あしの脛節の中ほどには
外向きのトゲが2つ以上ある？



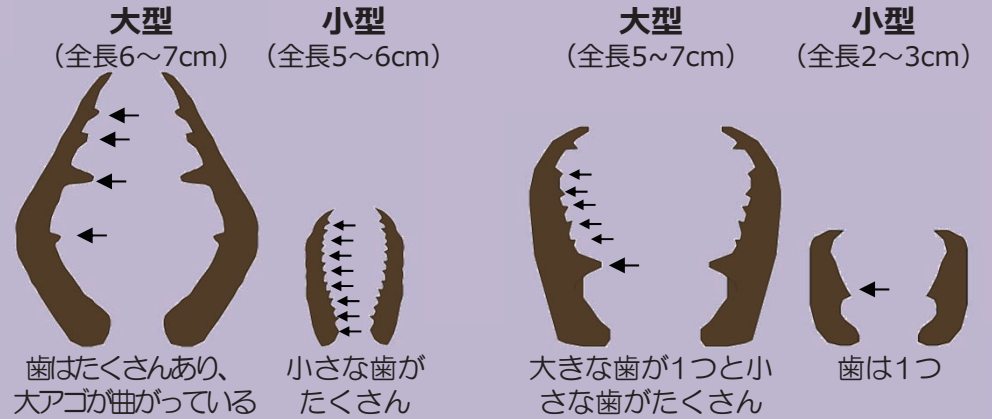
● ミヤマクワガタ
*大アゴの形は個体差がある



*これ以後はメスの見分けが難しいため、オスだけが見分け方の対象です。

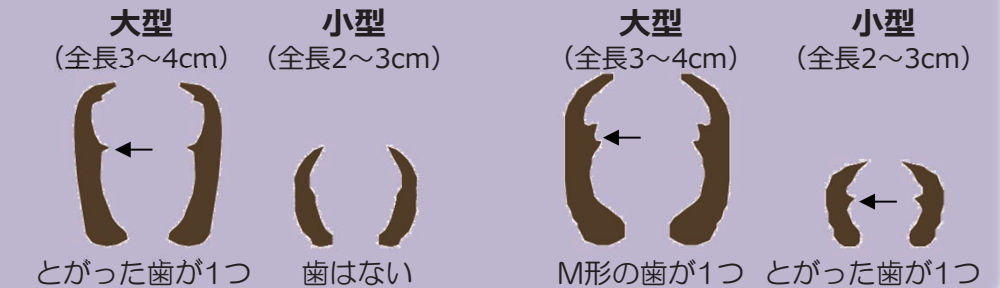
大アゴの形で4種を見分けます (全長はだいたいの目安です)

☆ノコギリクワガタ (13ページへ) ☆ヒラタクワガタ (13ページへ)



☆コクワガタ (13ページへ)

● スジクワガタ (県内では少ない)



コクワガタ

小鋏形 *Dorcus rectus*

全長：オス 17～54mm
メス 22～33mm

特徴：全体的に黒色。

習性：成虫は5～10月に発生する。主に夜行性だが、昼間でも活動する。クヌギやコナラ、ヤナギなどの樹液によく集まる。



オス



メス

ヒラタクワガタ

平鋏形 *Dorcus titanus*

全長：オス 19～81mm
メス 21～44mm

特徴：全体的に黒色。
体が平べったい。

習性：成虫は5～10月に発生する。主に夜行性で、クヌギやヤナギ、アカメガシワなどの樹液に集まる。昼間は樹皮の下にいることが多い。



オス



メス

ノギリクワガタ

鋸鋏形 *Prosopocoilus inclinatus*

全長：オス 26～75mm
メス 19～41mm

特徴：オスは赤茶色のものが多い。
オスは目のうしろ（ほっぺ）がふくらむ。

習性：成虫は6～10月に発生する。主に夜行性で、クヌギやコナラ、ヤナギなどの樹液に集まる。昼間は木の高い所や落ち葉の下などにいる。



オス



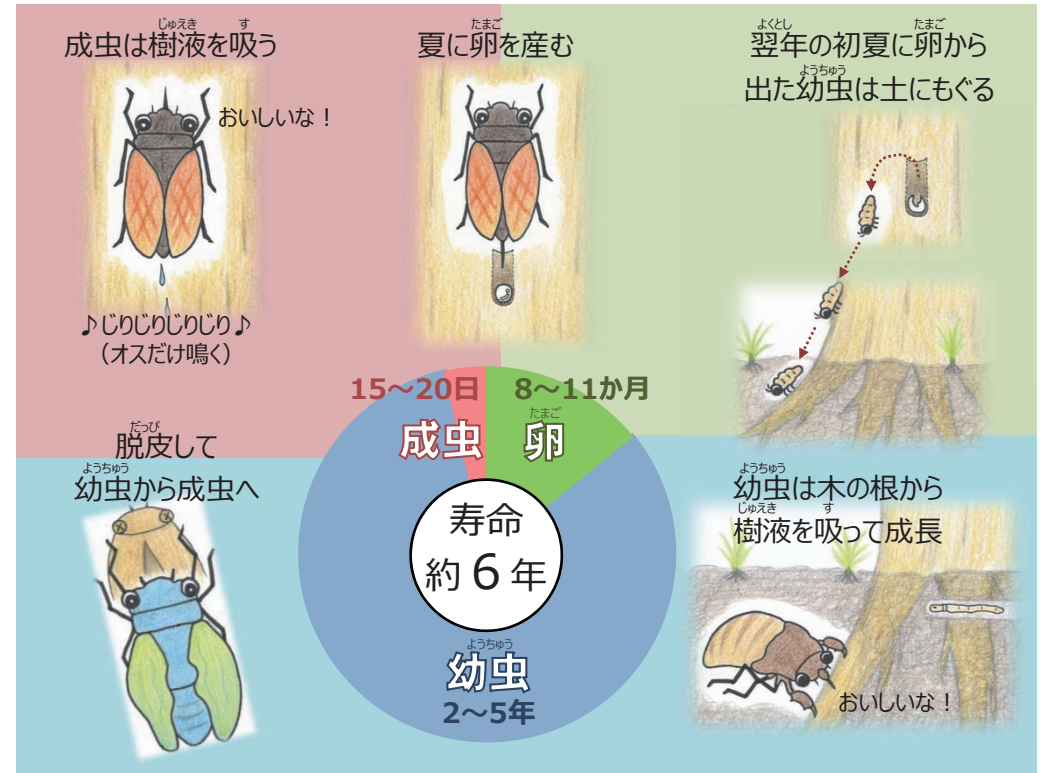
メス



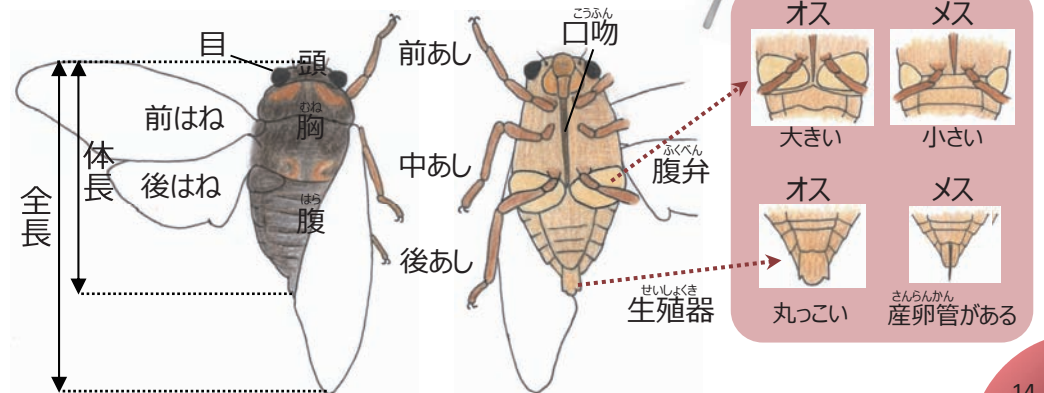
セミの仲間

カメムシ目 セミ科 Cicadidae

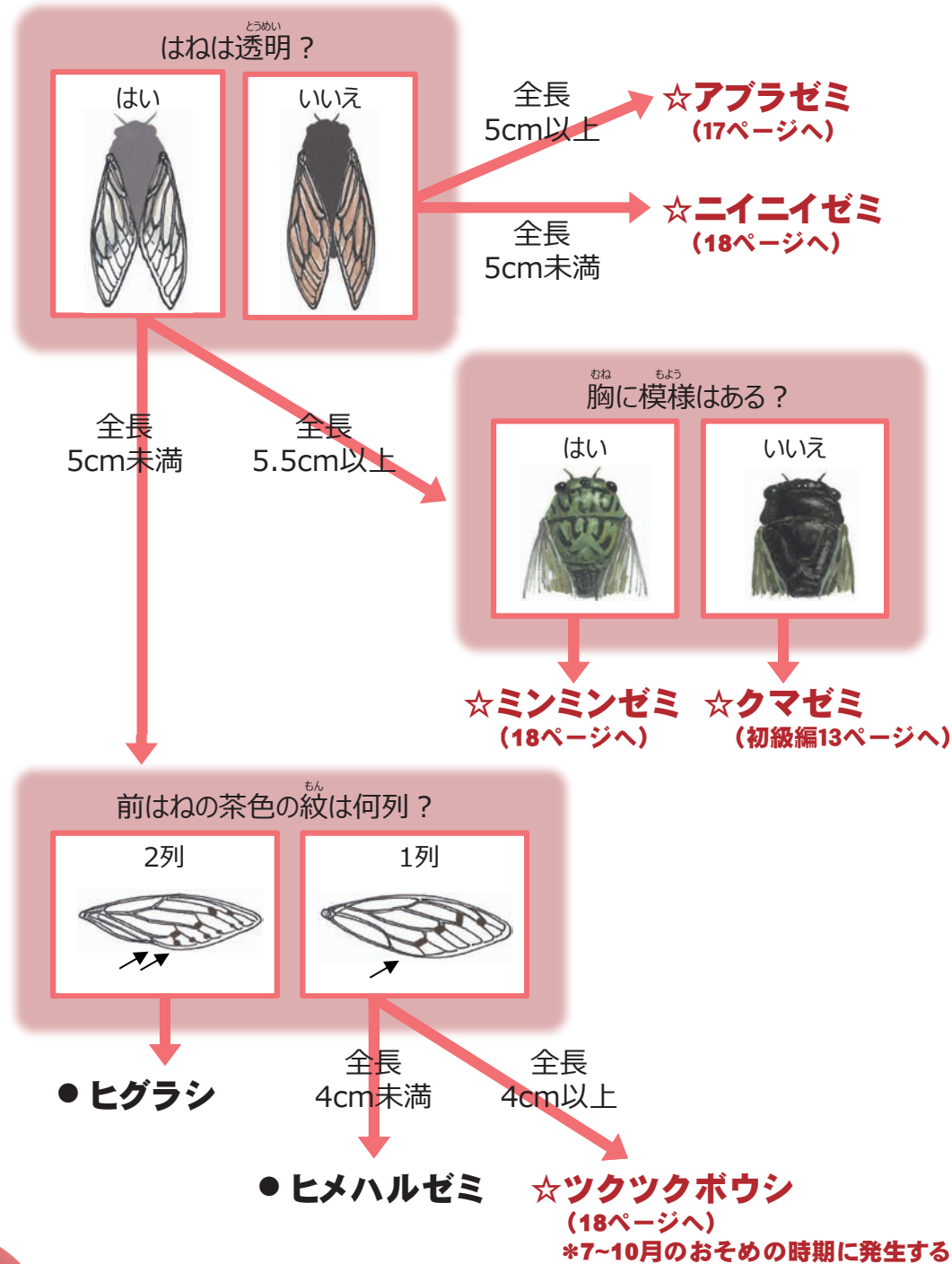
● セミの一生 (アブラセミの場合)



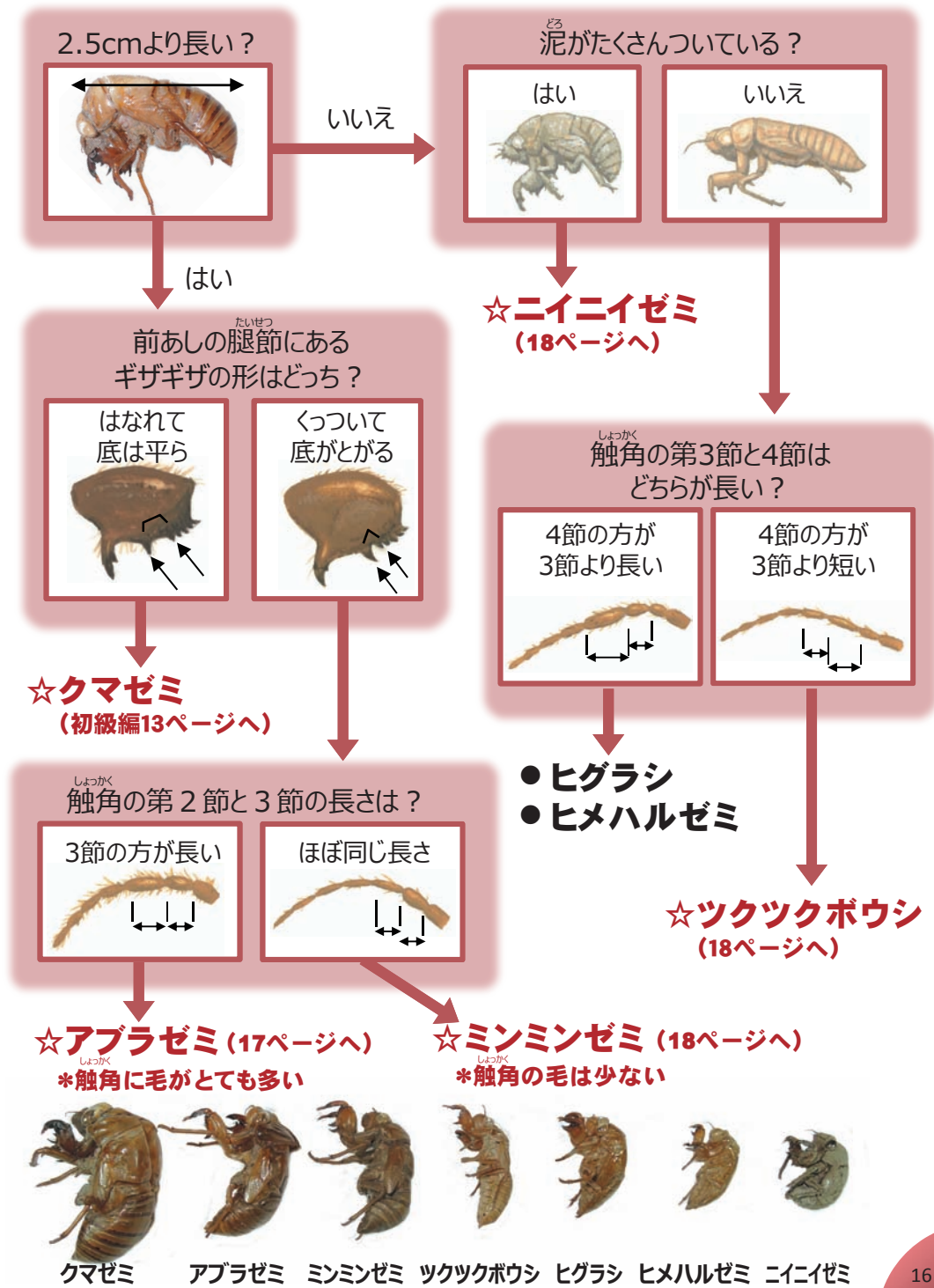
● 体のつくりを観察してみよう!



● 成虫の種類しらべスタート！ (☆は報告対象です)



● 抜け殻の種類しらべスタート！ (☆は報告対象です)



● 鳴き声を聞き分けてみよう！ 写真はほぼ実寸大です



● ヒメハルゼミ
『ビーン、ビーン』



● ヒダラシ
『カナカナカナカナ』



☆ ニイニゼミ
『チー---』



☆ ツクツクボウシ
『オーシンツクツクオーシンツクツク』



☆ クマゼミ
『ワシワシワシ、シャーシャーシャー』



☆ アブラゼミ
『ジ-----ジリジリジリジリ』



☆ ミンミンゼミ
『ミンミンミンミンミー』

ミンミンゼミ

みんみん蟬 *Hyalessa maculaticollis*

大きさ：全長 57~63mm
体長 31~36mm

特徴：成虫の体は黒色で、胸に緑色の模様がある。
はねは透明。

習性：7~10月に鳴くが、8月が最も多い。
ケヤキやサクラなどを好む。



ニイニゼミ

にいにい蟬 *Platypleura kaempferi*

大きさ：全長 32~40mm
体長 20~26mm

特徴：成虫の体は黒色で、胸にオレンジ色や緑色の模様がある。はねは茶色と透明のまだら模様。

習性：6~9月に鳴く。
サクラやケヤキなど、いろいろな木を好む。



アブラゼミ

油蟬 *Graptopsaltria nigrofuscata*

大きさ：全長 53~60mm
体長 32~40mm

特徴：成虫の体は黒色で、腹は白い粉におおわれる。
はねは茶色。

習性：7~9月の午前中と夕方によく鳴く。卵で冬を過ごし、次の年の初夏に幼虫となって、地中にもぐる。幼虫期間は5年のものが多い。



ツクツクボウシ

つくつく法師 *Meimuna opalifera*

大きさ：全長 40~47mm
体長 26~33mm

特徴：成虫の体は主に黒色で、胸にオレンジ色や緑色の模様がある。はねは透明。

習性：7~10月に鳴く。
サクラやカキノキなど、いろいろな木を好む。





コガネグモの仲間

クモ目 コガネグモ上科 Araneoidea

クモの巣あれこれ雑学

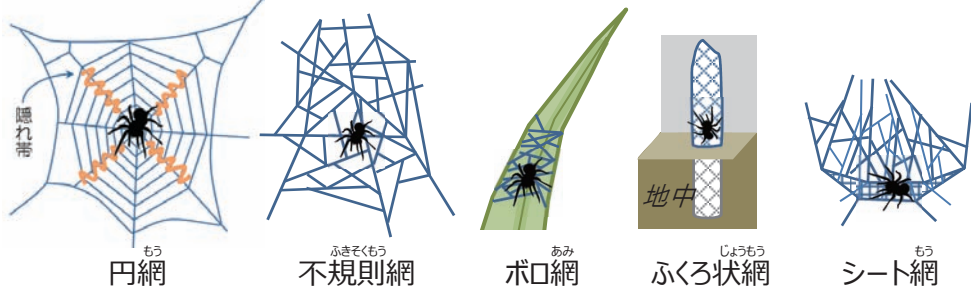
① 巣を作らないクモ

クモの仲間には、巣を作らない種類があります。その数なんと全体の約半分！
巣を作らないクモは、地上や木、葉の上を歩き回ってエサを探します。



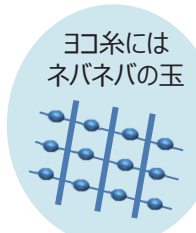
② クモの巣の種類

クモの巣の形は大きく分けて13種類あり、以下はその中でも代表的な形です。

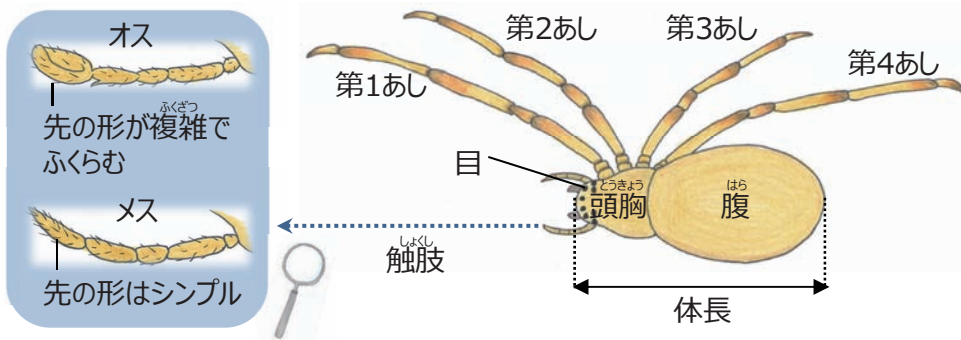


③ クモはなぜクモの巣にくっつかないか？

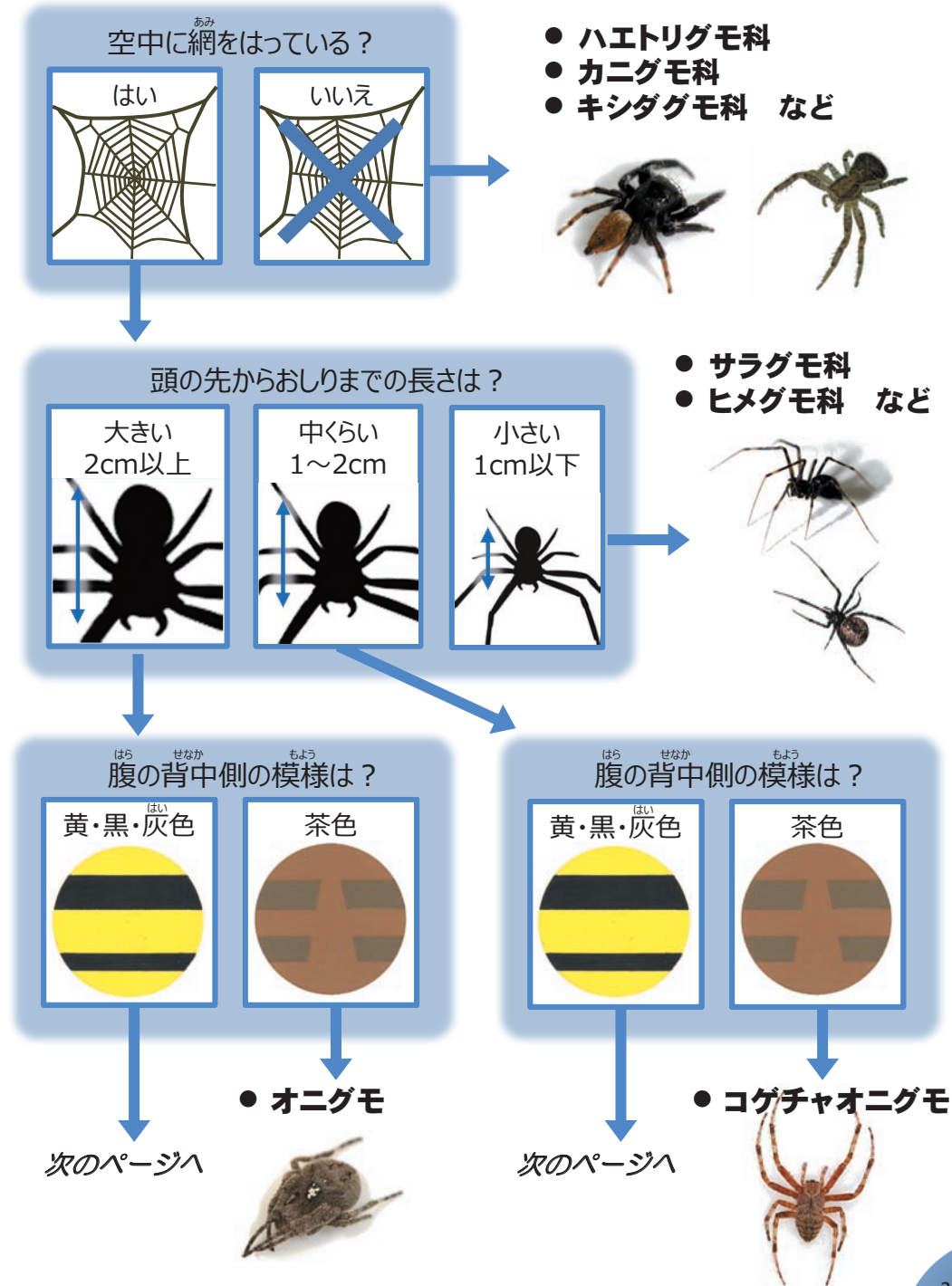
クモの巣の主は、なぜ巣の上を歩いてくっつかないのでしょうか？
クモの巣のヨコ糸には粘球というネバネバする成分がついていますが、タテ糸にはついていません。クモの巣の主は、タテ糸の上だけを上手に歩いているからくっつかないのです。



体のつくりを観察してみよう！



種類しらべスタート! (☆は報告対象です)



前のページの続き
(大きいクモ)

前のページの続き
(中くらいのクモ)

腹の背中側の模様で
以下の3種を見分けます

腹の背中側の模様で
以下の3種を見分けます

☆コガネグモ
(21ページへ)



☆ナガコガネグモ
(22ページへ)



☆コガタコガネグモ
(22ページへ)



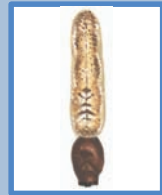
☆ジョロウグモ
(22ページへ)



●オオシロカネグモ



●アシナガグモ



●チュウガタシロカネグモ

* 図は頭を下向きに描いています

コガネグモ

黄金蜘蛛 *Argiope amoena*

体長：オス 5~7mm
メス 20~25mm

巣の形：円形の巣。かくれ帯（白帯）はX形
もしくはその一部を省略した形。

習性：成虫は6~8月に発生する。家の軒先、
森林のまわり、水田、河原などに巣を作る。



ナガコガネグモ

長黄金蜘蛛 *Argiope bruennichi*

体長：オス 6~12mm
メス 20~25mm

巣の形：円形の巣。
かくれ帯はタテの直線の形。

習性：成虫は8~11月に発生し、水田、河原、
森林などの草や低い木の間に巣を作る。
危険を感じると巣をゆさぶって敵を脅かす。



コガタコガネグモ

小型黄金蜘蛛 *Argiope minuta*

体長：オス 4~5mm
メス 6~12mm

巣の形：円形の巣。かくれ帯はX形もしくはその一
部を省略した形。

習性：成虫は7~10月に発生する。家の軒先、
森林のまわり、水田、河原などに巣を作る。
音に敏感なのでそと近づこう。



ジョロウグモ

女郎蜘蛛 *Nephila clavata*

体長：オス 6~10mm
メス 20~30mm

巣の形：とても大きくて複雑な円形の巣。
かくれ帯は作らない。

習性：成虫は9~11月に発生する。庭木や軒先、
山地の林道、溪流まで広く生息する。



【生きもの調査に関するご意見、ご質問はこちらまで】
福岡県 環境部 自然環境課 野生生物係
 Tel : 092-643-3367 Fax : 092-643-3357
E-mail : shizen@pref.fukuoka.lg.jp

【調査用生きものガイドー中級編：里山ー】

- 発行年月：平成27年6月
- 発行：福岡県環境部自然環境課
- 編集：福岡県保健環境研究所環境科学部環境生物課
- 協力：永松愛子（種類しらのイラスト）
- 写真提供：岩熊志保・馬場友希・松岡寿興